

【団体の概要】

事業名： 持続可能な山の暮らしを考えるSDGs勉強会

団体名： 土佐塩の道保存会

【活動の概要】

第1回 SDGsの基礎と、自分たちの暮らす地域に照らし合わせた身近なSDGs「持続可能な暮らし」について学ぶ。中身から容器に至るまですべて自然に還る素材で、地元の素材で作られた「塩の道弁当」の昼食を食べていただき、塩の道保存会の活動の趣旨を知ってもらう。

第2回 塩の道が往還道として使われていた頃の山の暮らしや、旅人が活用していた携行食を実際につけて体験することで、当時の不便さと山の自然の豊かさを体験して、生きるための知恵と力を学ぶ。

第3回 自分たちの暮らす地域の身近な問題、課題を出し合い、SDGs「持続可能な暮らし」について考える。

第4回 自分たちの暮らす地域の身近な問題、課題を出し合い、未来の目標を作る。

※各回、動画撮影をしてDVD4枚分に編集し、今回参加出来なかった地域関係者や、関係団体に希望があった場合貸し出しをする。成果物は3、4回目の内容を集約したものを冊子として作成、印刷し、4回の参加者全員と、香美市長、香南市長、香美市物部町の学校や香美市教育委員会、その他希望者に配布する。

【プログラム】

実施年月日： 令和2年10月10日(土)

場 所： 香美市物部町大栃1390-1 香美市役所物部支所

日 程：

9:30～ 受付

10:00～12:00 (公社)森と緑の会こうち山の日推進事業の活動説明、挨拶、SDGsの基礎を学ぶ

12:00～13:00 塩の道弁当の昼食

13:00～14:00 自分たちの地域のSDGsについて学ぶ

募集地区： 高知県全域

募集対象： 地域活動に携わる方、興味のある方

募集方法： SNS、高知新聞、

参加費等： 1500円

参加人数： 大人 30

子供 0名

スタッフ 7名

講師(外部指導者) 1名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

○参加者・スタッフの感想

世間で流布させているSDGsについて初めて学ぶことが出来た。SDGsについての説明はボリュームがあり過ぎたが、自分たちの地域の身近な物事に照らし合わせた説明は、よく理解できた。SDGsの趣旨に添った内容の「塩の道弁当」は見た目も味も素晴らしかった。

実施年月日： 令和2年10月31日(土)

場 所： 香美市物部町庄谷相集会所、塩の道(庄谷相～黒見休憩所)

日 程：

9:00 物部町庄谷相(塩の道拠点集会所)集合・受付

9:40 携行食づくり

9:50 ウォーク開始

11:00～13:30 黒見公園で火起こし体験、塩の道弁当の昼食

13:40～ 黒見公園出発

15:30ごろ 庄谷相集会所到着、振り返り、アンケート記入後解散

募集地区： 高知県全域

募集対象： 地域活動に携わる方、興味のある方

募集方法： SNS、高知新聞、

参加費等： 2000円

参加人数： 大人	20名	子供	3名
スタッフ	7名	講師(外部指導者)	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知新聞			
○参加者・スタッフの感想			
山の自然を満喫した。昔の塩の道の歴史を学べた。火起こし、味噌玉作り、今までの便利さに気づかないことを学べて、SDGsの繋がりを感しました。 便利な現代社会の暮らしの裏側には、環境への負担も大きいことがわかった。			

実施年月日： 令和2年11月7日(土)			
場 所： 香美市物部町大栃1390-1 香美市役所物部支所			
日 程：			
9:30～ 受付			
10:00～12:00 持続可能な山の暮らしを考えるワークショップ(未来へつなぐ山の暮らし)			
募集地区：	高知県全域	募集対象：	地域活動に携わる方、興味のある方
募集方法：	SNS、高知新聞、	参加費等：	500円
参加人数： 大人	10名	子供	0名
スタッフ	7名	講師(外部指導者)	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知新聞			
○参加者・スタッフの感想			
自分たちの暮らす地域の問題点を改めて知ることができて、どう解決に繋ぐかを考えることが出来た。			

実施年月日： 令和2年11月14日(土)			
場 所： 香美市物部町大栃1390-1 香美市役所物部支所			
日 程：			
9:30～ 受付			
10:00～12:00 山の暮らしの目標を作るワークショップ(未来へつなぐ山の暮らし)			
募集地区：	高知県全域	募集対象：	地域活動に携わる方、興味のある方
募集方法：	SNS、高知新聞、	参加費等：	500円
参加人数： 大人	10名	子供	0名
スタッフ	7名	講師(外部指導者)	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知新聞			
○参加者・スタッフの感想			
日々衰退していく地域の中で無力さを感じていたが、今出来ること、やらないといけないことを多く理解できて良かった。この活動を活かせるように今後もご指導をお願いしたい。			